

# HCL Notes/Domino V12 バージョンアップセミナー 技術編

株式会社エイチシーエル・ジャパン  
2022年10月12日

# 概要篇のごあんない

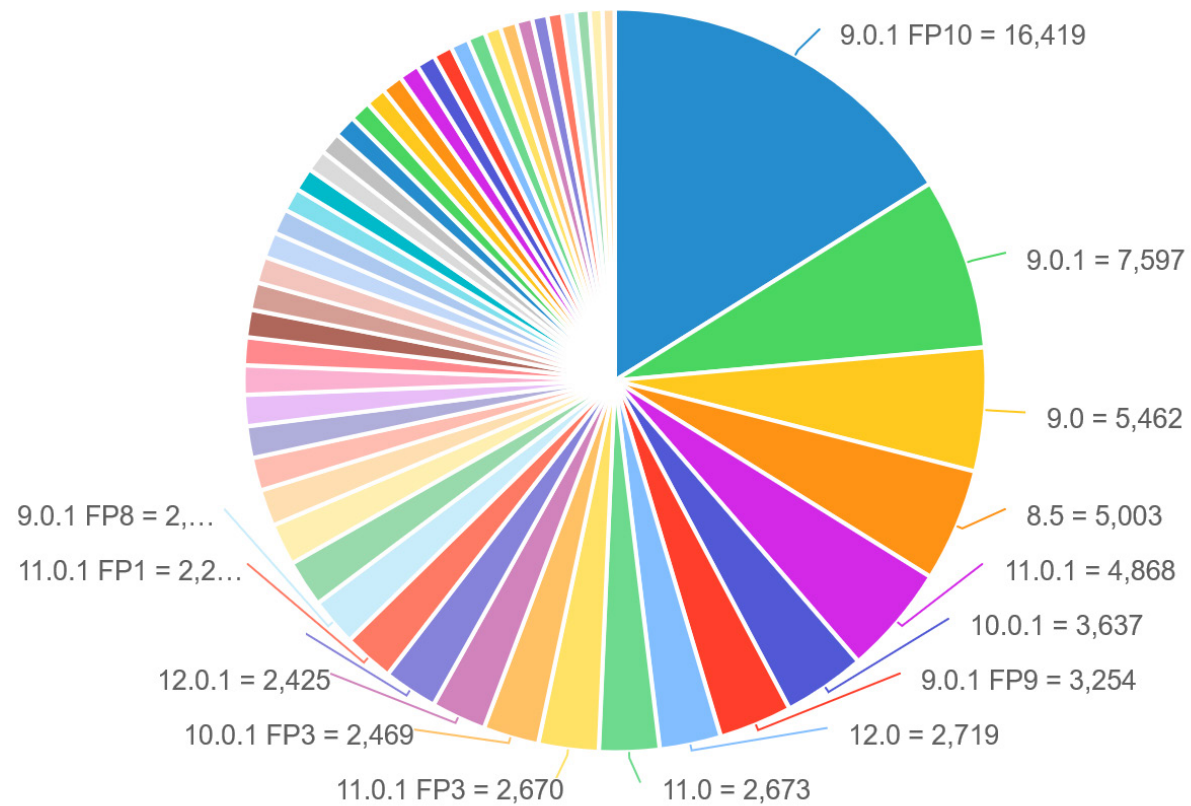
V10 からの HCL による製品への継続的な投資を経て、Web やモバイル、クラウドへの対応強化した Domino V12 がリリースされました。

Domino V9, V10 やそれ以前のバージョンからアップグレードをする事により得られる、最新のクラウドやモバイルへの対応やセキュリティ脆弱性への対応はもとより、既存のアプリケーションのモバイル化やモダナイズまで実現できます。AD や他システムとの連携も強化されてより業務に即したアプリケーションの開発・管理がしやすくなった Domino 12 と今後のロードマップをご説明します。

リプレイURL: <https://register.gotowebinar.com/register/7481432682942137099>

# 利用中のバージョン

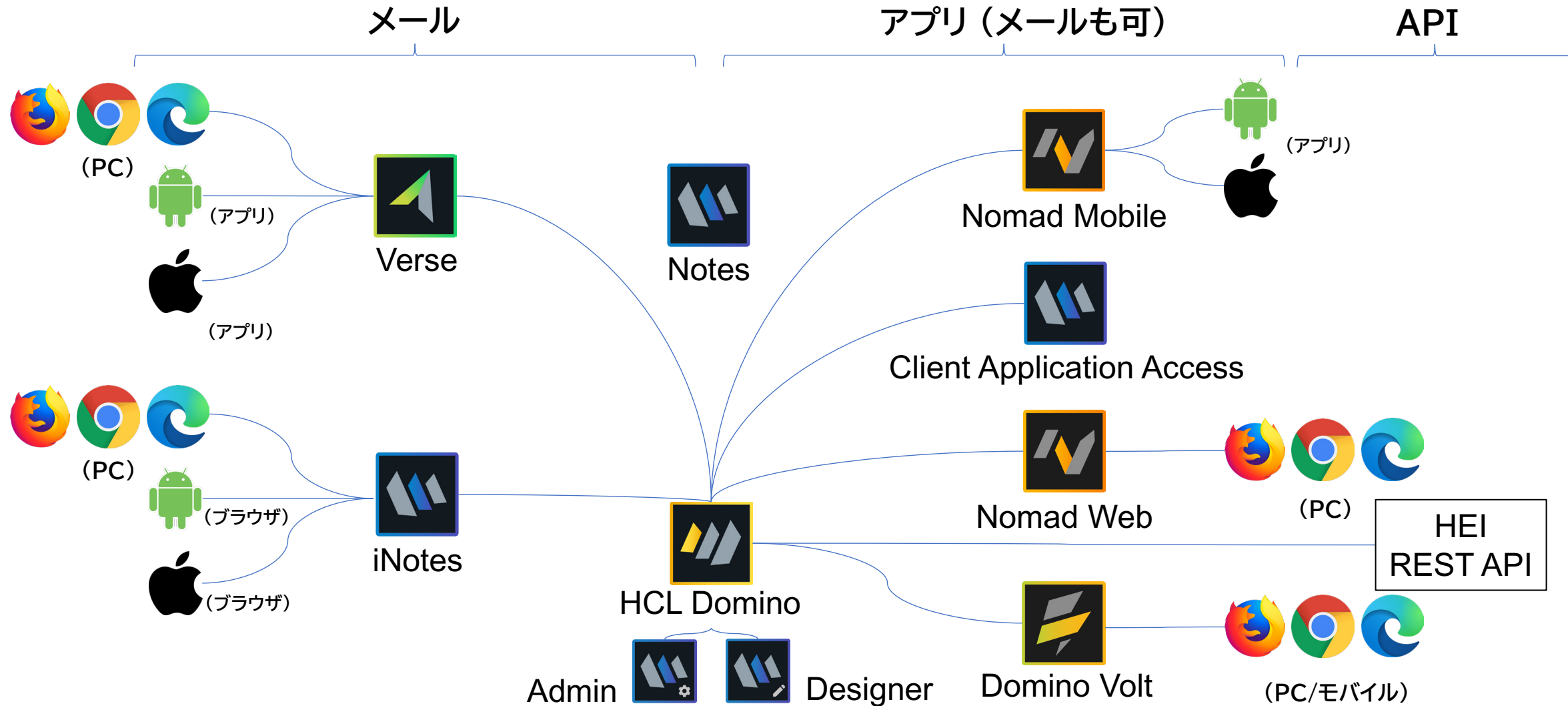
お問い合わせの半数近くが Notes/Domino 9



# もくじ

- 製品リリース計画とサポート終了
- ダウンロード
- システム要件
- 移行パス
- 互換性問題
- 移行の進め方
- Nomad Mobile と Nomad Web
- バージョンアップツール

# HCL Notes/Domino の全体図





# HCL Notes/Domino 2022-2024 製品計画

- 移行先として 12.0.1/12.0.2/12.0.3を推奨

## “Danube” 12.0.2

- アプリのモダナイズ
- メールセキュリティ強化
- ミーティングスケジューリング強化

OND 2022

## “Thames” 12.0.3

- Domino Designer Client
- TCO
- Unified Web Experience

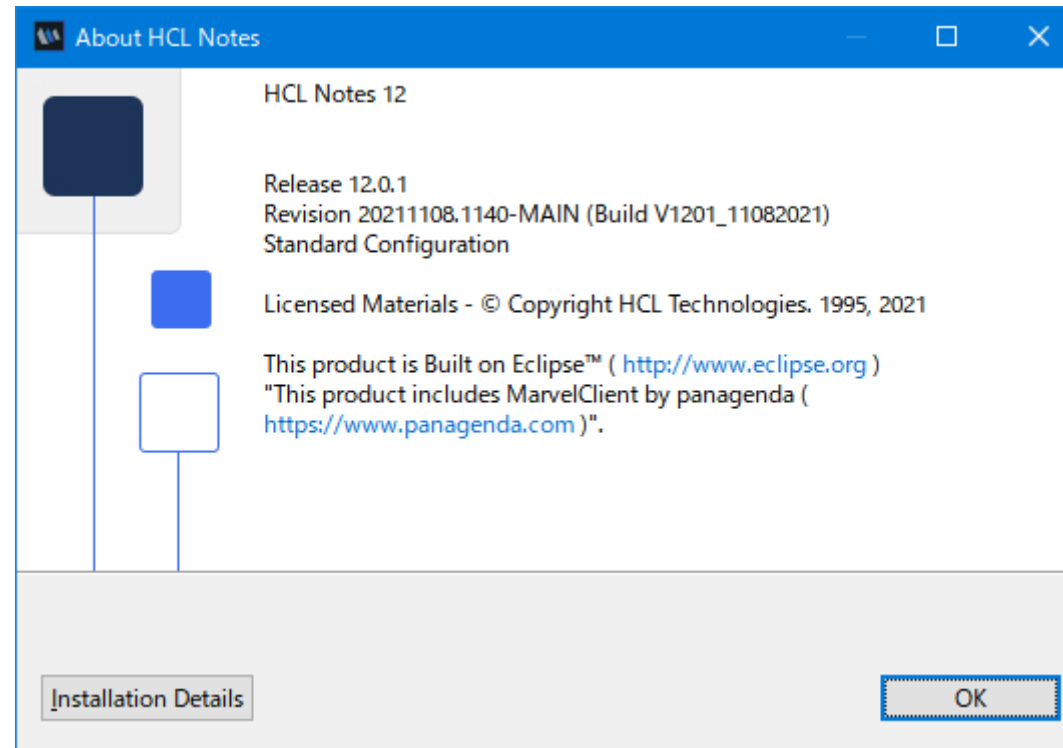
OND 2023

## “Rio Grande” VNext

- Even Easier Upgrades
- TCO
- IDE improvement

OND 2024

# 12.0 以降のリリースについて



Domino 12.0.0  
June 2021

Domino 12.0.1  
Dec. 2021

Domino 12.0.2  
Nov/Dec 2022

Domino 12.0.3  
OND 2023

Notes/Domino V9.0.x, V10.0.x

# 営業活動終了、サポート終了のご案内

## Notes/Domino V9.0.x および V10.0.x の製品ライフサイクルに関する発表

- ✓ 2022年6月21日 発表 ([英語](#) / [日本語翻訳](#))
- 営業活動終了(End of Marketing): 2022年12月1日
- サポート終了(End of Support): 2024年6月1日

### ご案内

- 「営業活動終了」の時点で該当する製品バージョンのモジュールは [ダウンロードサイト \(HCL Software License Management Portal\)](#) から削除されます
  - 最新 Interim Fix (IF) のみ継続公開
  - 前提条件となる 9.0.1 FP10、10.0.1 FP8 をダウンロード
- 「サポート終了」の時点で該当する製品バージョンの技術サポートの提供を終了します
- 有償での延長保守サポートサービスは提供されません

### 該当バージョンならびに最新バージョン

バージョン	リリース日	営業活動終了日	サポート終了日
IBM Notes/Domino 9.0.x	2013年4月12日	2022年12月1日	2024年6月1日
IBM Notes/Domino V10.0.x	2018年10月10日	2022年12月1日	2024年6月1日
HCL Notes/Domino V11.0.x	2019年12月20日		
HCL Notes/Domino V12.0.x	2021年5月27日		



# Notes/Domino 9.0.x、10.0.x 一部サポート除外

- Notes/Domino 9.0.x、10.0.x では、製品のサポート終了に先んじて、一部機能のサポートを終了しています。
  - サポート技術情報: Notes/Domino 9.0.x、10.0.x で今後修正モジュールが提供できない場合があるコンポーネントについて  
[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0086305](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0086305)
  - サポート技術情報: Domino v9.0.x、Domino v10.0.x のサポートに関する更新について  
[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0085925](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0085925)

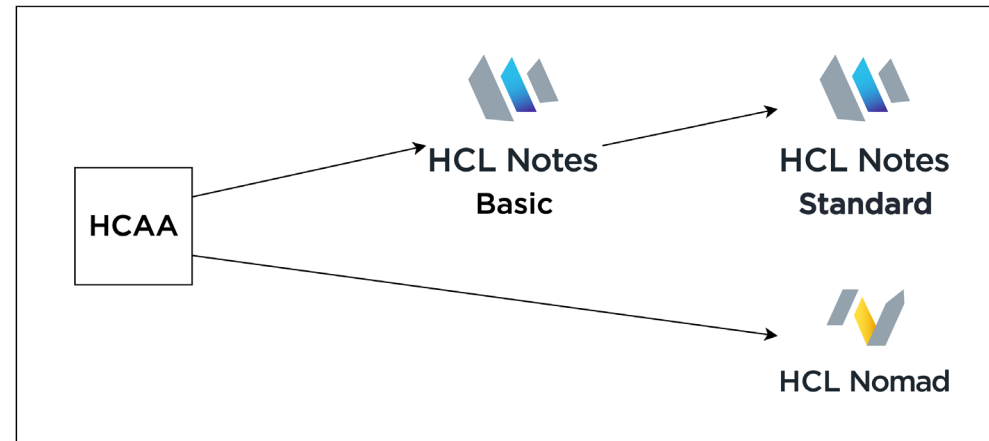
## 「除外コンポーネント」、「入手不可アイテム」リスト

IBM JVM/JDK	Java を使用する Notes/Domino の各機能で利用 Notes Java クラス、Java アプリケーション、Java アクセスを伴う Web エージェント、XPages など) ※Domino 11 以降 OpenJDK に変更されました。
IBM GSKit	SHA-2 アルゴリズムの暗号化に利用 ※Domino 11 以降 GSKit から OpenSSL に変更されました。
Microsoft ActiveX	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iNotes 利用における添付ファイルユーティリティ、ドラッグ&amp;ドロップなど添付ファイルの関連操作</li> <li>・ Lotus Domino Sync Manager (DOLS)</li> <li>・ ブラウザキャッシュ管理</li> </ul>
Microsoft Visual C++ Redistributable Packages	Notes/Domino インストール時にインストールされ、Notes/Domino 実行時に利用 ※現在のところ Microsoft 社によるサポートが終了しているバージョンが 『Domino v9.0.x、Domino v10.0.x のサポートに関する更新について』の除外コンポーネントとしてリストされています。
Packaged ODBC drivers (DataDirect)	LotusScript データオブジェクト (LS:DO)、DominoR Enterprise Connection Services (DECS) 、Enterprise Integrator (LEI/HEI) による外部データベースへのアクセスに利用

# HCAAとiNotesのロードマップ

- **HCL Client Application Access**

- HCAAは11.0.1で製品開発が終了
- Nomad、あるいはNotes (Basic)への移行を推奨



- **HCL iNotes**

- Domino 12ではiNotesをサポート
- HCLの製品開発は iNotes から Verse へシフト

# 最新Fix一覧

- **Notes/Domino 9.0.1 Windows 版 最新 Fix モジュール**
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0073932](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0073932)
- **Notes/Domino 10.0.1 Windows 版 最新 Fix モジュール**
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0087905](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0087905)
- **Notes/Domino 11.0 Windows 版 最新 Fix モジュール**
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0087910](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0087910)
- **Notes/Domino 11.0.1 Windows 版 最新 Fix モジュール**
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0087911](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0087911)
- **Notes/Domino 12.0.1 Windows 版 最新 Fix モジュール**
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0095593](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0095593)

# システム要件

- **Notes V12.0.1**

- Windows 11 (all editions)
- Windows 10 (all editions)
- Windows 2019 (all editions)
- Mac OS 11.x (Big Sur)
- Mac OS 10.15 (Catalina)
- Mac OS 12.x (Monterey)
- Citrix Virtual Apps & Desktop 7.1808+
- Citrix XenApp 7.15
- VMWare Virtual Desktop Infrastructure (VDI) 7
- Microsoft Remote Desktop Services 2019

# FAQ: NotesとDominoの同居は可能か

- **Windows 2019に限り可能**

- NotesとDominoの双方のシステム要件でサポートされている場合に限る。
- Windows 2022は未サポート
- サポート技術情報
  - Notes クライアントと Domino サーバーを同一端末にインストールした環境のサポートについて  
[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0100793](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0100793)



# システム要件

## • Domino V12.0.1

- Windows Server 2016, 2019, 2022 (All editions)
- IBM AIX 7.2 TL1+
- IBM i 7.3, 7.4
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) Server 7.4+, 8.0+
- CentOS 7.4+, 8.0+ (non-Stream version)
  - 8は2021年12月31日にサポート終了済み。ベストエフォートでサポート
  - 7は2024年6月30日にサポート終了
- RHEL/CentOS 7.5 Linux-equivalent OS
- RHEL/CentOS 8.0 Linux-equivalent OS
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12.2, 15.0

# システム要件 (12.0.1 FP1)

OS	Hardware	Bitness
Windows Server 2016, 2019, 2022 (All editions)	x86-64	64-exploit
IBM AIX 7.2 TL1+	Power8, Power9	64-exploit
IBM i 7.3, 7.4	Power8, Power9	128-exploit
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) Server 7.4+, 8.0+	x86-64	64-exploit
CentOS 7.4+, 8.0+ (non-Stream version)	x86-64	64-exploit
RHEL/CentOS 7.5 Linux-equivalent OS	Equivalent OS with the following kernel: (省略)	64-exploit
RHEL/CentOS 8.0 Linux-equivalent OS	Equivalent OS with the following kernel: (省略)	64-exploit
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12.2, 15.0	x86-64	64-exploit

- 新機能は Windows と Intel Linux を優先して実装

# 移行パス

- **原則**

- 検証済み: 9.0.1 以降 -> 12.0.1 以降
- R5からのバージョンも移行実績報告あり

- **Notes**

- アンインストール/インストール or 上書きインストールが基本
  - シングルスユーザー/マルチユーザーインストール切り替えの場合は不可
    - アンインストールして、データフォルダーを変更

- **Domino**

- アンインストール/インストール or 上書きインストールが基本

# FAQ: 非サポートバージョンからのバージョンアップは可能か

- サポートされていないバージョン(8.5以下)からのバージョンアップは可能でしょうか？
- HCL Software は、R5以降からのバージョンアップをベストエフォートで対応します。
  - 9.0.1以降からのバージョンアップが検証済みのサポート環境
  - 参考:「Domino 9.0.1 未満からの HCL Domino 11, 12 へのバージョンアップ」
    - [https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0081525](https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb_article&sysparm_article=KB0081525)

## FAQ: 現状が8.5以下の場合、9.0.1を経由すべきか

- 現在のNotes/Dominoが8.5以下の場合、9.0.1を経由すべきでしょうか？
  - これまでの事例、簡易検証から必須ではなくなりました。
    - ただし、構成が影響する可能性があるため、検証は行ってください。



# FAQ:異バージョン混在

- **異バージョン混在時の注意事項はありますか？**

- 移行途中に複数バージョンの並存が発生します。旧バージョンがなくなるまで新機能を使わない、新テンプレート(除くシステム系)を使わないことで問題は発生しません。
- すべてのサーバーとクライアントのバージョンが上がってからテンプレートを更新し、新機能を有効にするようにします(一部機能を除く)。
- 異なるバージョンでのクラスタリングは許容されます。

- **検証・移行作業時のサーバーライセンス**

- 時的に増加するサーバーについて、90日を目処にライセンス不要で利用できます。

## FAQ: HCAA のバージョン組み合わせ

- HCAA 3.x (Notes 11.x コードストリームベース)とDomino 12は組み合わせで使用できますか？
  - サポートされている構成です。

## 関連製品

- **HCL Enterprise Integrator (HEI)**

- 12.0.1 で Domino 12版をリリース
- Windows、Linux、IBM i に対応
- ODBC を使用するには CDATA ODBCドライバーを入手する必要あり
- 検証済みDB コネクター
  - DB2 11.5
  - Oracle 19c
  - MSSQL 2019
- HCL Enterprise Integrator 12.0.1 リリース情報  
([https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0095501](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0095501))

- **HCL Sametime**

- Windows と Linux に対応
- 現行製品は10/11.5/11.6/12.0
  - 10: チャット機能のみリリース
  - 11.5/11.6: ミーティングがDockerで提供
  - 12: チャットもDockerで提供
- Sametime V12.0.1 は2022年11/12月予定
- Dockerに慣れていない場合、Limited Use で使うバージョンは Sametime 11.6 IF1 を推奨

## 関連製品

- **Traveler**
  - Notes/Dominoと同期したリリース
  - Traveler の製品情報
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0074830](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0074830)
  - DB2は使用権がなくなっているので注意
- **Domino Volt/Nomad Web**
  - Dominoバージョンに依存せず1.0.xを順次リリース
  - HCL Nomad Web (HCL Nomad for Web Browsers) 1.0.x リリース情報
  - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0090739](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0090739)

# 基本情報: 付属コンポーネント

- 使用可能なコンポーネント
  - HCL Notes/Domino
    - Notes、Domino、Client Application Access、Domino Designer、Verse、Traveler、HCL Sametime Limited Use (Connect Client を含む)、Nomad Mobile、Nomad Web
  - HCL Connections (Profiles とFiles)
  - Domino VoltとSametime Meetingsはオプションライセンスが必要
- 使えなくなったもの
  - IBM DB2 Enterprise Server Edition (Traveler用)
    - 「12から」。以前取得分は継続利用可能。
  - IBM Security Directory Integrator (単独利用)
    - Connections 用には使用可能
    - Domino V11の新機能 Active Directory Sync で同期運用が可能

注意: これは HCL Notes Domino Complete Collaboration 12.0 の例です。ライセンス種類で異なります。

[「Notes/Domino ライセンスガイド」](#)を参照してください。

<https://www.hcljapan.co.jp/software/license/hcl-notes-domino-license-guide/>

参考: [HCL Traveler 使用権に付属する IBM DB2 使用権の廃止について](#)

[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm.article=KB0091043](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm.article=KB0091043)



# 基本情報: 使えなくなった機能

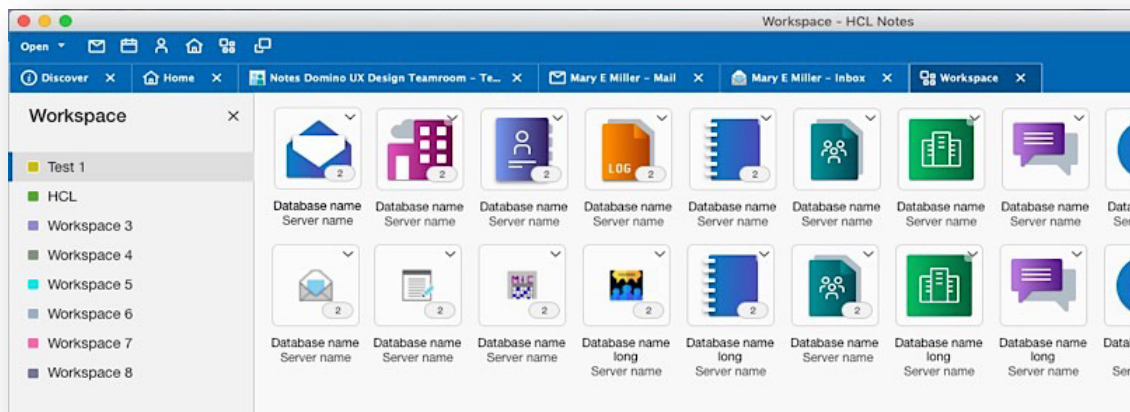
- V12
  - **Notes クライアントシングルログオン**
    - Notes と Windows のパスワードを同期していたこの機能は廃止され、HCL Notes クライアントのインストール・オプションとして削除されました。これは、引き続きサポートされる Notes 共有ログインとは異なる機能であることに注意してください。
  - Web 管理テンプレート webadmin.ntfの廃止
- V10
  - Domino Off-line Service (DOLS)
  - **KeyView フィルター** (索引作成は Apache Tikaに変更。ビューワーは機能が廃止され、ファイルに対応したアプリケーションで閲覧)。**インデックスの再作成が必要。**

詳細は「**Domino 10 以降で廃止された機能**」を参照してください。

[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0078855](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0078855)

# アプリの互換性と操作性の互換性

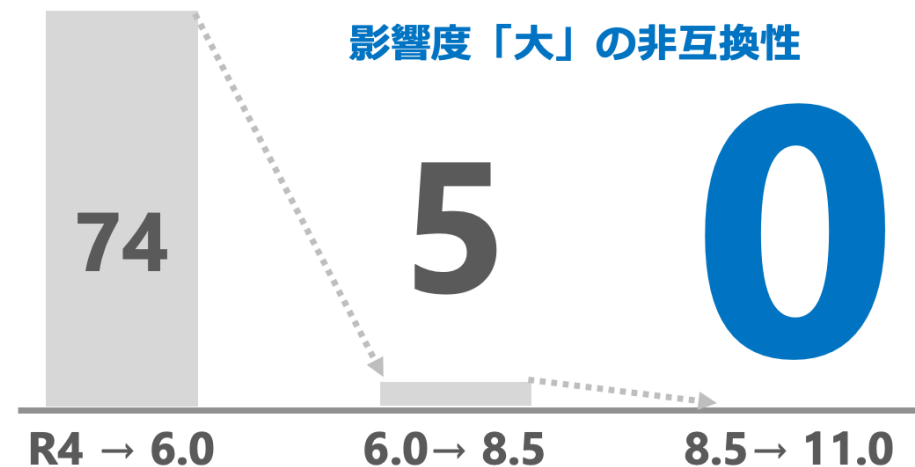
- **Notes/Domino 9 以降はアプリ互換性の問題はほぼ解消**
  - BasicからStandard版にした場合に、表示上のずれなど影響は限定的
  - 詳細は「技術篇」にて
- **ユーザーインターフェースも一貫性を維持**



Notes/Domino バージョン間での互換性の向上

→ 影響度「大」に分類される非互換情報は Notes/Domino 6 以降ほとんどありません

※ 移行Hint&Tips集に記載している既知の非互換情報件数より



## FAQ: ワークスペースタブの位置設定

- ワークスペースタブを左側から上部に戻すことはできますか。
  - notes.ini に Workspace\_Navigator=0 を設定
  - ワークスペースタブを上部に表示する方法
    - [https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0098150](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0098150)

# アプリ互換性: 非互換検証結果 (同一Edition間)

移行Hint&Tips集に記載している非互換情報件数 (影響度別)

移行パス	影響度別非互換数(*1, *2)			
	大	中	小	合計
8.5(Basic版)から9.0(Basic版)	0	3	2	5
8.5(Standard版)から9.0(Standard版)	0	8	12	20
9.0(Basic版)から10.0(Basic版)	0	1	3	4
9.0(Standard版)から10.0(Standard版)	0	1	4	5
10.0(Basic版)から11.0(Basic版)	0	1	1	2
10.0(Standard版)から11.0(Standard版)	0	1	1	2

\*1: @関数/LotusScriptの非互換文書の件数

\*2: 表示イメージの違い、ウィンドウタイトルの違いなど、@関数/LotusScript 以外の非互換は含まない

## ▶ 影響度

大: 一般的によく使用され、発生件数が多く、エラー発生や出力結果が異なるなどアプリケーションに重大な影響を及ぼす可能性があるもの

中: 使用頻度が低い、または特定のケースに限った現象なので、発生件数は少ないが、エラー発生や出力結果が異なるなどアプリケーションに影響を及ぼす可能性があるもの

小: 見栄え/操作などで相違点があるため、注意が必要なもの。アプリケーションへの影響は少ないと考えられる

## 互換性

- 同一 Edition (BasicからBasicなど)利用時、9以降は検証不要と断言していいレベルに到達
- 中・小の件数は極めて稀な条件で発生するもの

V11と12は同一コードベース。  
表内のV11はV12と読み替えて  
ください

# アプリ互換性: 非互換検証結果 (BasicからStandardへ)

移行Hint&Tips集に記載している非互換情報件数 (影響度別)

移行パス	影響度別非互換数(*1, *2)			
	大	中	小	合計
8.5 (Basic版) から9.0 (Standard版)	0	11	10	21
9.0 (Basic版) から10.0 (Standard版)	0	6	17	23
10.0 (Basic版) から11.0 (Standard版)	0	5	13	18

## 非互換例

- 新たに追加されたクラスと同じ名称を既存のアプリケーションで使用していた場合、10.0移行後、コンパイル時および実行時にエラーになる
  - NotesGPS
  - NotesGPSPosition
  - NotesGPSCoordinates

## 互換性

- BasicからStandardへ変更する場合は、同一 Edition 間と比較してやや多く見える
- しかし、中・小の件数は極めて稀な条件で発生するものであり、十分に互換性がある状態と言える。

V11と12は同一コードベース。  
表内のV11はV12と読み替えて  
ください

# アプリ互換性: 移行を支援する3つのツール



1. カンタン移行判定ツール
2. 移行Hint & Tips集
3. 移行チェックツール

移行対象アプリケーションの絞り込み

## 【カンタン移行判定ツール】

アプリを分析し、絞り込みや移行方針検討に役立つ情報を提供

- 設計の複雑度、類似度
- 移行ワークロード

無償

非互換情報収集・改修方針の検討

## 【移行Hint & Tips集】

バージョン毎、クライアント種別毎の非互換情報、改修方法の提供

ノーツコンソーシアムから

非互換発生箇所の把握

## 【移行チェックツール】

既存アプリケーションに含まれる非互換になる可能性がある設計要素を自動的に抽出

非互換の改修・テスト

移行

ダウンロード: Notes/Domino カンタン移行判定ツール

[https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0074161](https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0074161)

# アプリ互換性: ツールのご紹介

- 移行 Hint&Tips 集の稼動環境
  - HCL Notes クライアント 9.x 以降
  - 他製品のインストール不要
- 移行チェックツール(NDACC: HCL Notes/Domino Application Code Checker)の稼動環境
  - HCL Notes クライアント 9.x 以降
  - 別途、Teamstudio Analyzer のインストールが必要
- 入手方法
  - ノーツコンソーシアム様の案内をご参照ください
  - ノーツコンソーシアム様 「会員の特典」ページ  
<https://www.notescons.gr.jp/home.nsf/content.xsp?k=specialfavor>
  - Teamstudio Analyzer は、チームスタジオジャパン株式会社様の案内をご参照ください
  - チームスタジオジャパン株式会社様Webサイト: <https://jp.teamstudio.com/analyzer>

# 進め方: 計画のポイント

## 現状のモニタリング

現在の負荷状況の理解

## 環境の評価

インプレース、または新規ハード/OS かの判断

## デプロイの順序

バージョンアップ順序の決定

## 環境の準備

実施前の準備事項

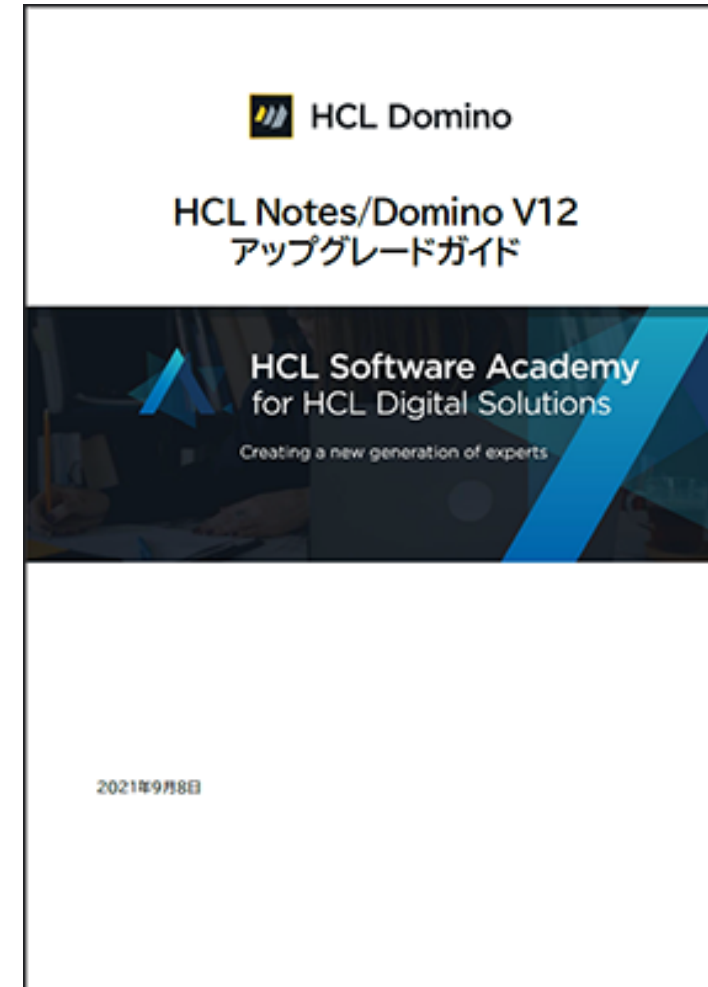
## アプリの対応

カスタム・アプリケーションの対応



# 進め方: デプロイの順序

- ・ 過去のバージョンアップと作業手順は同じ
  - ・ Domino Administrator クライアント
  - ・ Domino ディレクトリーテンプレートの置換
  - ・ Domino システム管理サーバー
  - ・ ハブサーバー
  - ・ メールサーバー
  - ・ アプリケーションサーバー
  - ・ クライアント関係
    - ・ メールテンプレート置換
    - ・ 新機能の有効化
  - ・ 連携関係
    - ・ Enterprise Integrator サーバー
    - ・ Traveler サーバー



3章、4章に詳細記載

# 進め方: コストを意識した準備

## 過去のバージョンアップ手順と同じ

1. 計画 (含インプレースか新環境、アプリの検証計画)
2. 準備・検証 (含アプリ)
3. パイロット
4. 全面展開

## 「アプリの検証計画」がコストの鍵

- 「何をどこまでやるか」をIT部門、エンドユーザー、対応業者間で決定 (右図)
- カンタン移行判定ツール、ログ、カタログの活用

## サーバー並行稼働によるSLA確保とコスト削減可能性

- 現バージョンサーバーとDomino 12間で複製して使用 (異バージョンサーバー間のクラスタリングは非推奨)

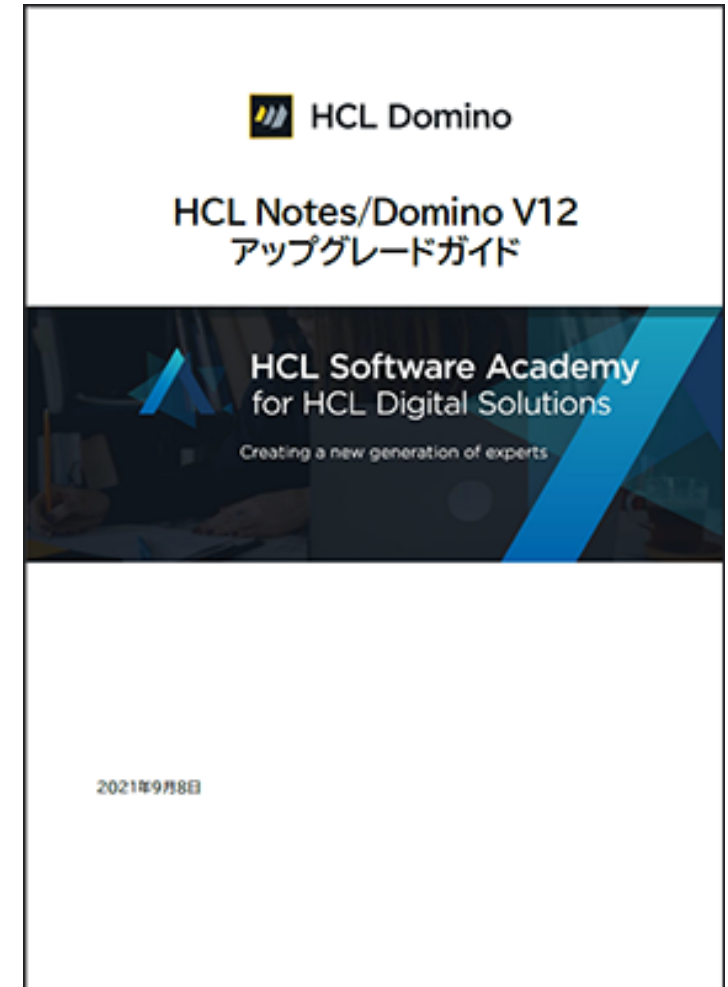
## アプリ検証計画例

- 検証レベルの設定とアプリの選別
  - 完全検証
  - 簡易テスト
  - 検証なし
- 問題発生時の対応の決定とエンドユーザーへの周知
  - 即日対応開始、修正目標1営業日
  - 1週以内対応開始、修正目標1週間
  - 1ヶ月を目処に対応

# 進め方: 資料のご紹介

- 第1章 HCL Notes/Domino V12.0の紹介
- 第2章 アップグレード前のセキュリティーに関する注意点
- 第3章 Domino V12 アップグレードのための環境の準備
- 第4章 Domino V12へのアップグレード
- 第5章 アプリケーションのアップグレード
- 第6章 Domino V12サーバーの展開
  - One Touch Setup
- 第7章 Notes V12クライアントの展開
  - MarvelClient
- 第8章 アップグレードリソース

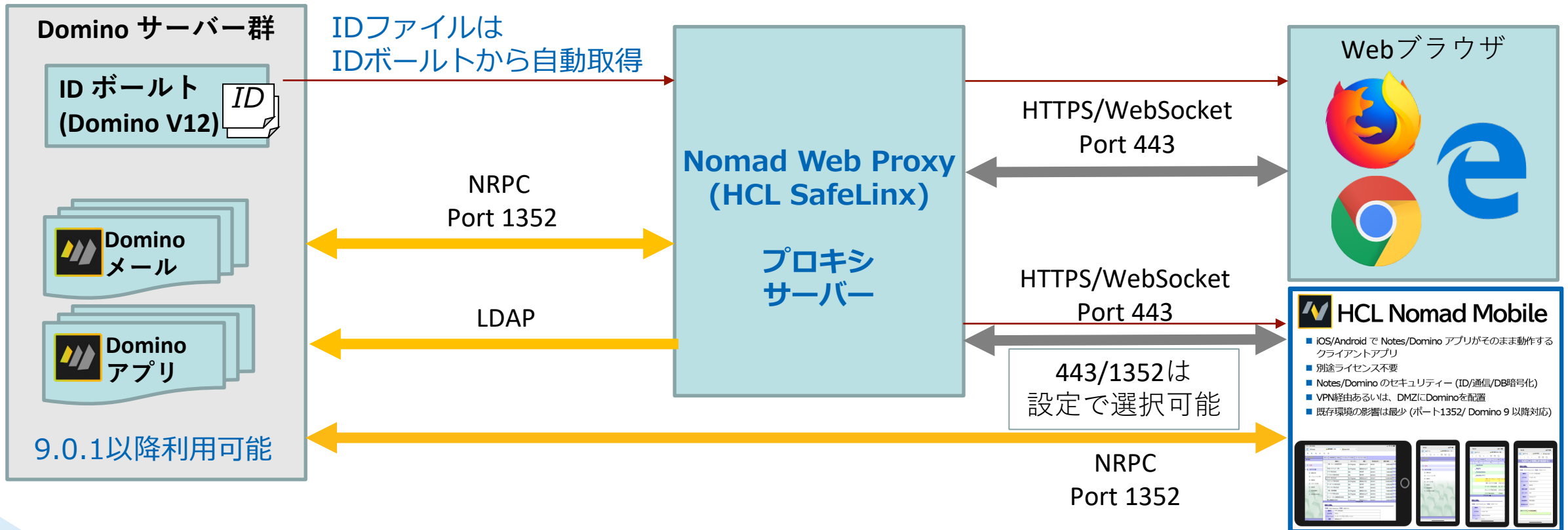
ダウンロード: <https://www.hcljapan.co.jp/software/products/notes-domino/v12-special/#whitepaper>



HCL Notes/Domino V12  
アップグレードガイド (全43ページ)

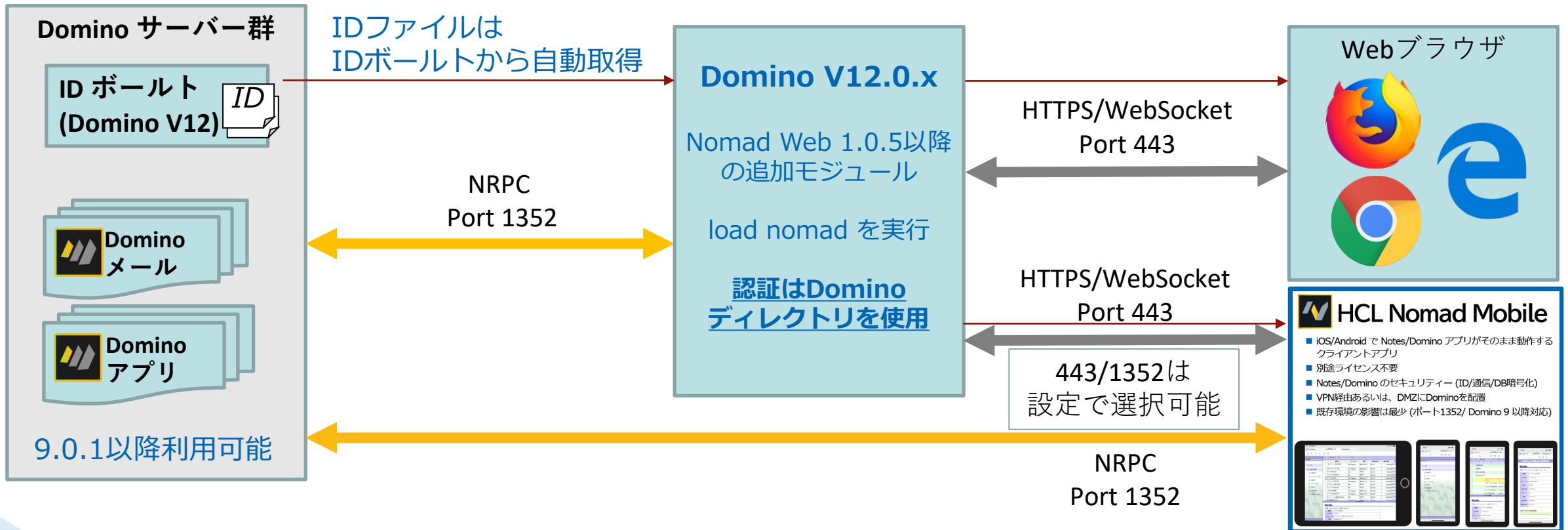
# デプロイが容易な Nomad 用プロキシサーバー

- Nomad Webはプロキシサーバー1台追加のみで実現。1時間未満でインストール可能
  - Nomad Mobile の「443化」も実現
- 詳細は「HCL Nomad for Web Browsers 1.0.x リリース情報」に記載  
[https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0090739](https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb_article&sysparm_article=KB0090739)



# デプロイが容易な Nomad 用プロキシサーバー

- Nomad Webはプロキシサーバー1台追加のみで実現。1時間未満でインストール可能
  - Nomad Mobile の「443化」も実現
- 詳細は「HCL Nomad for Web Browsers 1.0.x リリース情報」に記載  
[https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb\\_article&sysparm\\_article=KB0090739](https://support.hcltechsw.com/csm/ja?id=kb_article&sysparm_article=KB0090739)



## FAQ: Nomad Web のワークスペースの同期

- NotesとNomad Webを併用した場合、ワークスペースの同期されますか
  - セットアップ時に一度だけ同期されます。
  - MarvelClient (有償)を使えば同期が可能です。

# FAQ: Nomad Webのバージョンアップ方法

- **Nomad Webをバージョンアップする方法は？**
  - 新しい Nomad Web のファイルをプロキシサーバーにコピーするだけ。
  - クライアントがアクセスすると自動的に検知して画面上に「更新しますか」画面が表示される。

# 無償体験: HCL Digital Solutions Sandbox

- Nomad Web はデータベースをアップロード可能
- メール送信やエージェント実行で制限以外は利用可能

The screenshot shows the HCL Digital Solutions Sandbox landing page. At the top, there is a navigation bar with the HCL Software logo and links for 'ようこそ' (Welcome), '製品' (Products), 'サポート' (Support), and 'サービス' (Services). Below this is a blue header with the text 'HCL Digital Solutions Sandbox'. A breadcrumb trail shows 'HOME / HCL Digital Solutions Sandbox'. The main content area contains a paragraph explaining the sandbox's purpose: it allows users to experience HCL Software collaboration products for free by logging into a sandbox account. Below this are two bullet points detailing access: one for HCL Domino Volt and HCL Sametime Premium Meetings, and another for HCL Nomad for web, which requires additional login information for a 'clientless' environment. At the bottom, there are three columns, each with a product icon, the product name, and a 'ログイン' (Login) button. Underneath each login button is a yellow button: 'ユーザー登録' (User Registration) for Domino Volt and Sametime Meetings, and 'アクセス要求の送信' (Send Access Request) for Nomad Web.

<https://www.hcljapan.co.jp/software/hcl-digital-solutions-sandbox/>



Notes/Domino V12 と Nomad をご検討のお客様へ

# Web ページ『Notes/Domino V12 バーチャル・セミナー』

Notes/Domino V12 と Nomad の最新情報、技術情報、バージョンアップ関連情報を集約した Web ページをご利用ください

→『Notes/Domino V12 バーチャル・セミナー』

<https://hclsw.co/notes-domino-v12>

- 製品紹介
- 技術記事
- 事例
- パートナーソリューション
- リンク集

# ブログ & SNS

## HCL Software 日本語ブログ

→ <https://www.hcljapan.co.jp/software/blog/>

## Twitter アカウント

HCL Software Japan (日本)

@HclJapan

→ <https://twitter.com/HclJap>

## LinkedIn アカウント

株式会社エイチシーエル・ジャパン

→ <https://www.linkedin.com/showcase/hcl-japan/>

✓ HCL Sofotware を含む 株式会社エイチシーエル・ジャパン のアカウントです

# バンドルされているサードパーティー製品

- **Panagenda MarvelClient**

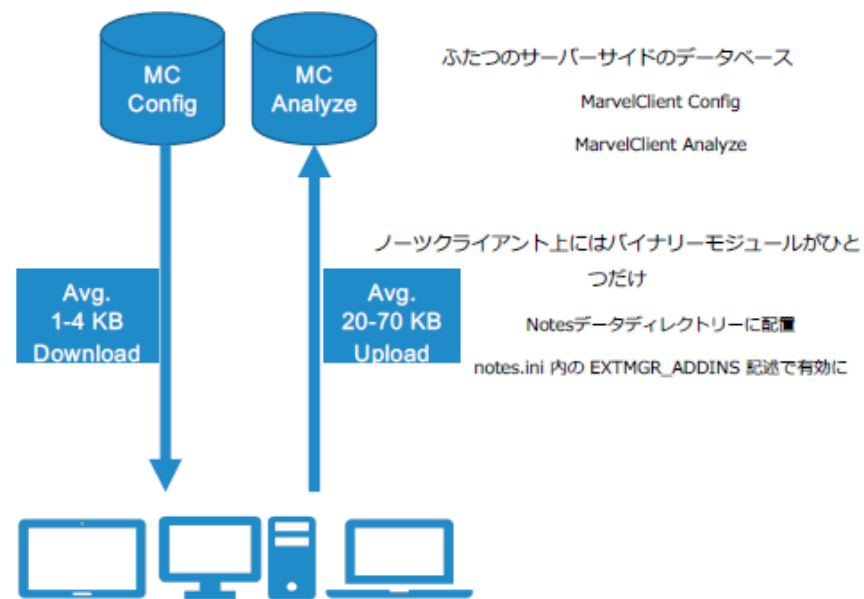
- フル機能版の場合、環境、構成情報収集と設定配布、同期、バージョンアップが可能なツール
- Panagenda MarvelClient Essentials が製品に内蔵

# panagenda MarvelClient: 紹介と振り返り

## 製品概要

- 70以上の国々で約 1,200万ユーザーライセンスを販売した実績あるネットワーククライアント管理ツール
- Notes クライアントの有益な情報を把握 (Notes/Domino 6以降で動作)
- ヘルプデスク業務、サポート、クライアント管理、アップグレードの作業で効果を発揮
- MarvelClient フル機能の各モジュールを追加で購入可能 (自動アップグレードの MCUgradeなど)

## アーキテクチャー



Roaming



Realtime



Automate



Eclipse



Mail

- 無償機能限定版 **MarvelClient Essentials** がNotes/Domino 10.0.1 より標準搭載



## Notes/Domino V12 での MarvelClient 新機能



【動画】深掘り！ Domino v12  
MarvelClient Essentials の統合  
- ケートリック社提供 -

機能	V12 MarvelClient 簡易インストール	MarvelClient Essentials	有償版 MarvelClient
クライアントの分析	Yes	Yes	Yes
HCL Nomad Mobile の管理	No	Yes	Yes
Windows プログラムの実行	No	Yes	Yes
notes.ini の制御	No	Yes	Yes
Windows レジストリーの管理	No	Yes	Yes
ファイル（小サイズ）の配布	No	Yes	Yes
ファイル（大）のスマート配布	No	Yes	Yes
プリファレンスの管理	No	Yes	Yes
その他のオプション	No	No	Yes, many more

# Notes V12 アップグレードの迅速かつ簡単な方法

•



## MarvelClient Upgrade が優れているポイント

- 簡単なアップグレード設定をひとつの文書に集約
- 早くそしてもっとも信頼できる方法で
- 様々なバージョンや形態のバージョンアップに対応
  - シングルユーザー → マルチユーザー
  - 6.x から最新の V12 まで
- データディレクトリーの移行
  - Lotus/IBM → HCL
- Windows, Citrix 及び VMWare (VDI)に対応
  - クライアント起動時間や安定稼働のための最適化への対応含む
- 組織でご利用のソフトウェア配布システムの有無に関わらず



# Q&A

- 「質問」パネルよりご質問を送信ください。  
時間内にご回答できなかった質問につきましては、後日「HCL ソフトウェア日本語ブログ」などで回答いたします。
- ウェビナー終了後、アンケートが表示されます。  
アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
- 本日の資料につきましては、  
『HCL Notes/Domino V12 バージョンアップ・  
ヴァーチャル・セミナー』ページから  
ダウンロードいただけます。  
→ <https://hclsw.co/notes-domino-V12>





**HCL SOFTWARE**